

米販売動向調査について（全米販）（令和5年6月分）

1. 回答数 62 会員

2. 調査結果概要

Q1：昨年6月と比べた令和5年6月（1か月）の米販売量

「やや増えた」、「増えた」の回答を合わせると約5割となる。

Q3：3か月前（令和5年3月）と比べた販売動向

「やや悪くなっている」、「悪くなっている」を合わせた回答数が、「やや良くなっている」、「良くなっている」を合わせた回答数を上回っており、DI値は「47.2」。

Q5：3か月先（令和5年9月頃）の見通し

「変わらない」の回答が約4割ある中、「やや良くなる」、「良くなる」を合わせた回答数が、「やや悪くなる」、「悪くなる」の回答を若干上回っており、DI値は「52.4」。

3. 集計結果

Q1：昨年6月と比べた令和5年6月（1か月）の米販売量

回答者数（会員）					
合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
62	8	21	10	15	8
100.0%	12.9%	33.9%	16.1%	24.2%	12.9%

Q3：3か月前（5年3月）と比べた販売動向

回答者数（会員）					
合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
62	5	15	19	14	9
100.0%	8.1%	24.2%	30.6%	22.6%	14.5%

DI値
47.2

（参考）規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
41.7	54.2	43.1

Q5：3か月先（5年9月頃）の見通し

回答者数（会員）					
合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
62	3	17	27	13	2
100.0%	4.8%	27.4%	43.5%	21.0%	3.2%

DI値
52.4

（参考）規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
61.1	49.0	52.6

※企業規模について

規模A：米穀の売上高が年間100億円以上、規模B：米穀の売上高が年間25億円以上～100億円未満

規模C：米穀の売上高が年間25億円未満

～主な回答理由～

Q1：現在（5年6月）の米販売量（前年同月との比較）

1. 業務用は顕著に増加。量販店用は取引先にもよるが全体的には増加傾向。
2. 業務用、量販店用共に増加している。低価格米のニーズが多い。
3. 精米販売は昨年実績を割ったが、玄米販売は上回り、トータルで上回った格好。
4. 6月は4月・5月の好調が鈍化してきた。

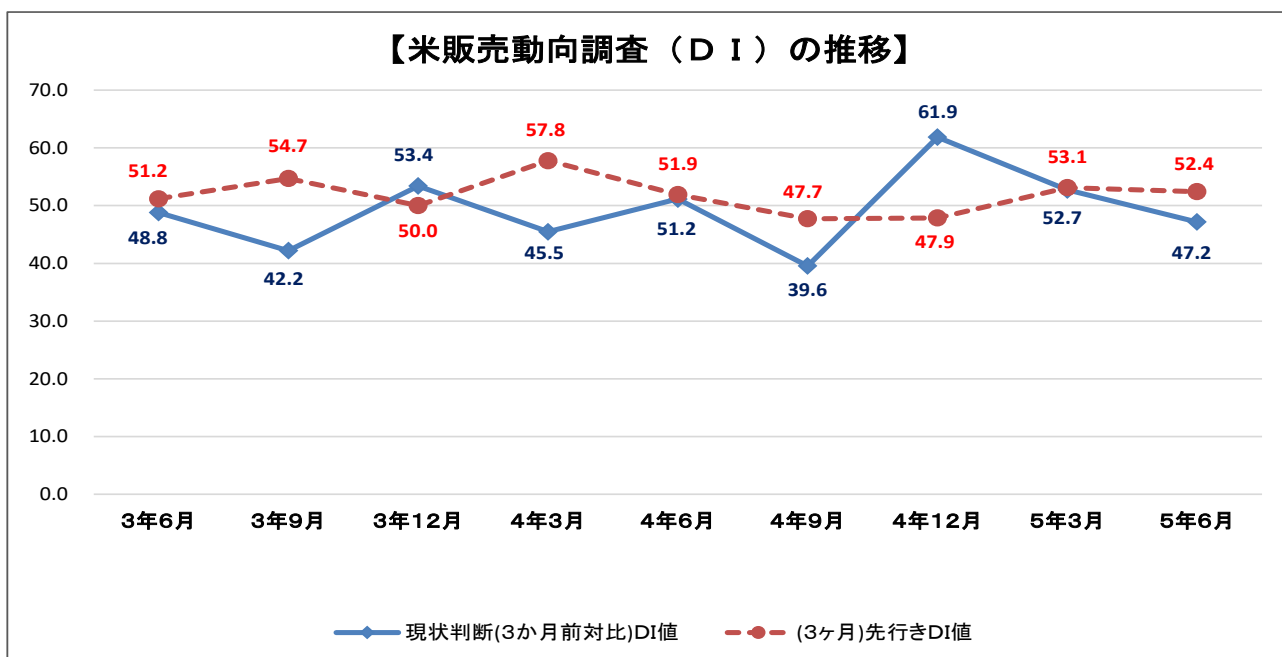
Q3：過去（3か月前）と現在の動き

1. 3月は需要期であったため、比較すると6月は減少傾向。
2. 精米販売量は増加したが、玄米販売分（卸間）は減少。
3. ランチ時の弁当持参が増えてきた。SMでもふりかけや鮭フレーク、冷凍の弁当商材などの売上も好調と聞いている。

Q5：将来（3か月後）の動き

1. 近年に比べ在庫が薄い状態で出来秋を迎えるため、卸間売買が増え、数字としては6月より伸びると予想。
2. 業務用を中心に販売量は増えてきており、安価な玄米の仕入れに苦慮しそうな状況。
3. 販売量は現状維持を予想しているが、新米の店頭価格で大きく変わってくる。
4. 手持ちの4年産在庫が少ないため、5年産の価格、銘柄によっては販売に苦戦する可能性がある。
5. 5年産は精米価格の上昇が見込まれているため、外食では一食当たりの使用量の減少、小売店では販売の停滞が考えられる。

【米販売動向調査（DI）の推移】



Q2：昨年6月と比べた令和5年6月（1か月）の米販売量

<仕向先別>	合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
(小売店向け)		%	%	%	%	%
大手スーパー	100%	7.1	31.0	31.0	19.0	11.9
中小スーパー	100%	3.4	24.1	34.5	29.3	8.6
米穀専門店	100%	0.0	12.3	42.1	28.1	17.5
その他	100%	17.0	14.9	34.0	10.6	23.4
(外食産業向け)						
外食向け	100%	13.2	45.3	32.1	5.7	3.8
中食向け	100%	6.7	40.0	41.7	8.3	3.3
給食向け	100%	6.7	16.7	66.7	6.7	3.3

Q4：3か月前（令和5年3月）と比べた販売動向

<仕向先別>	合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	2.4	26.2	42.9	23.8	4.8	49.4
中小スーパー	100%	3.4	24.1	43.1	25.9	3.4	49.6
米穀専門店	100%	0.0	7.1	57.1	25.0	10.7	40.2
その他	100%	4.3	17.0	42.6	21.3	14.9	43.6
(外食産業向け)							
外食向け	100%	5.6	48.1	35.2	11.1	0.0	62.0
中食向け	100%	3.3	40.0	43.3	13.3	0.0	58.3
給食向け	100%	1.7	20.0	68.3	10.0	0.0	53.3

Q6：3か月前（令和5年9月頃）の見通し

<仕向先別>	合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	2.4	19.0	50.0	28.6	0.0	48.8
中小スーパー	100%	1.7	17.2	56.9	20.7	3.4	48.3
米穀専門店	100%	0.0	5.4	55.4	28.6	10.7	38.8
その他	100%	0.0	28.6	44.9	22.4	4.1	49.5
(外食産業向け)							
外食向け	100%	5.6	37.0	55.6	1.9	0.0	61.6
中食向け	100%	3.3	33.3	60.0	3.3	0.0	59.2
給食向け	100%	1.7	13.3	81.7	3.3	0.0	53.3

*DI（diffusion index）の算出方法：内閣府で発表している「景気ウォッチャー調査」方式を採用した。具体的には、5つの回答選択肢に均等に0～1の評価点を与え、各回答の構成比に対応するそれぞれの評価点を乗じ、それらの合計を指数(%ポイント)としてDI値を算出。それが50の場合は横ばい(現状維持)を示す。0に近づくほど販売が低迷傾向にあることを示し、逆に100に近づくほど販売が好調傾向であることを示す。

(算出例)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
評価点 A	1	0.75	0.5	0.25	0
結果(構成比) B	17.8	20.0	20.0	22.2	20
各DI値 C=A×B	17.8	15	10	5.6	0
DI値(合計)	48.4→米販売の動きはほんの少し低迷傾向				